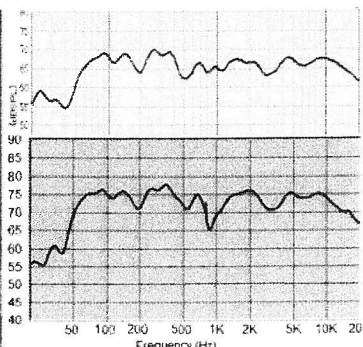
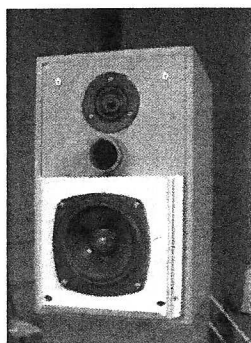


簡易マルチ2Wayスピーカ

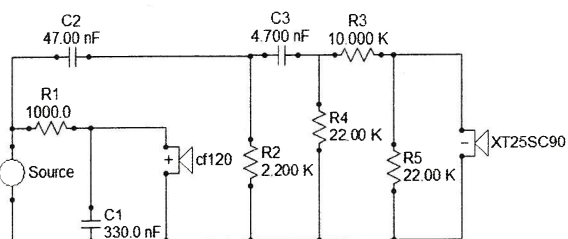


デジタルチャンデバを用いずにCRの簡単なフィルターで簡易のマルチアンプ駆動を試してみました。

最近ではデジタルアンプも安いのでアンプを2台にしても豪華なLCネットワークを作るのとそれほど変わらないくらいで可能になります。

チャンデバの設計は SpeakerWorkShop のネットワークシミュレータを使い、インピーダンスをアンプの入力インピーダンスとしました。

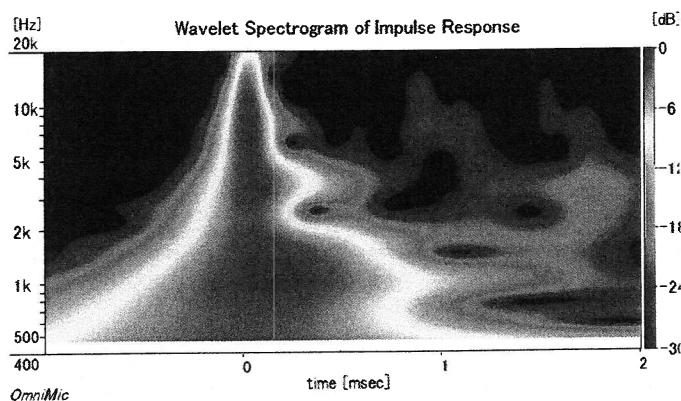
使用したスピーカユニットは低域が Dayton の CF-120-4、高域が Tympany の XT25SC90-8 です。



チャンデバ回路は低域が CR1 段、高域が2段のフィルターです。ツイータの低域が結構伸びているので2段で実質1段で、クロスは 2kHz 弱、スロープはほぼ 1 次の -6dB/oct になります。

左上のグラフで周波数特性の上の図が実測 (50cm) データで、下の図がシミュレーション結果です。

ウーファはフローティングを狙って取り付けでいますが少し硬すぎたようであまり効果は薄かったかもしれません。エンクロージャは約7リットル、これでポート長が7cmだと f_s は約50 Hz (12cmで40 Hz)ぐらいになります。バッフルはタイムアライメントのために30mmほどオフセットしています。



blog >

<https://milestone.at.webry.info/>

